

鼠径ヘルニア【脱腸】手術 入院治療計画書

ID: _____

患者氏名: _____様

生年月日: _____

病名(症状): _____

入院科/病棟: _____/_____

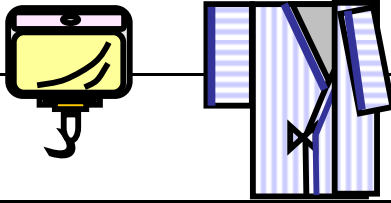
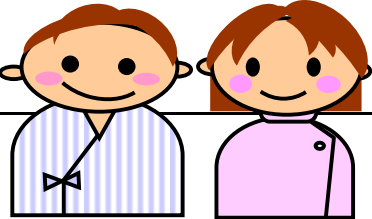
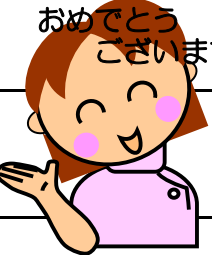
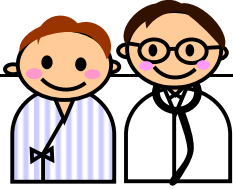
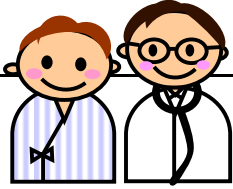
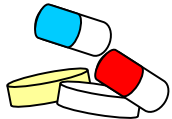
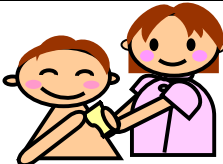
主治医: _____

担当医: _____

担当看護師: _____

主治医以外の担当者: 薬剤師 管理栄養士

2015/01/14 作成

月/日	/		/		/	
経過(病日等)	外来	入院日～手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日	手術後2日目～退院日
達成目標	①手術・治療について説明をうけ、安心して準備段階をすごすことができる ②わからないことは遠慮せず、医療者に確認することができる		①術前準備について説明をうけ安心して手術室へ出棟できる	①医療者の問いかけ、指示に従うことができる(深呼吸) ②ベット上安静・絶飲食が守れる ③痛みを訴えることができる	①看護師介助のトイレ歩行ができる ②看護師指示のもと、安全に初回飲食ができる ③術後偶発症について説明を受け、予防行動がとれる	①退院後の日常生活の注意事項について説明を受け、安心して退院できる *退院の目安は手術後2,3日目です
治療・処置		○手術部位の毛を除毛します ○臍をきれいにします がんばりましょう！ 	○看護師が弾性ストッキングをはくお手伝いをします ○手術着に着替えます ○朝～点滴をはじめます 	○膀胱留置カテーテルが入ります ○手術後の点滴をします ○抗生剤の点滴をします	○酸素マスク・心電図をはずします ○膀胱留置カテーテルを抜きます。 ○朝食を半分以上摂取できれば、点滴は終了です 	○傷口を確認します おめでとうございます 
検査	○胸部・腹部のレントゲン写真を撮ります。 ○血液検査、心電図、呼吸機能検査をします					
内服		○お薬を飲んでいる方は他院の薬を含めてすべて持参してください ○20時に下剤を飲みます				
食事		○手術前日の夕食まで食べれます ○飲水は自由です 	○午前()時まで飲水できます 	○手術後は食べたり飲んだりはできません 	○朝～飲水・食事ができます 	
看護		○院内は自由です ○入浴またはシャワーができます ○トイレで排泄ができます	○トイレで排泄ができます	○看護師が頻回に伺い、体温や血圧測定などを行います ○酸素マスク・心電図をします ○ベット上で安静にお過ごしください ○痛みがある時、眠れない時は看護師までお声をかけてください。点滴ができます	○1日目 看護師が体拭きお手伝いをします。 ○2日目以降はシャワー浴ができます。 ○膀胱留置カテーテルを抜いた後はトイレで排泄ができます。	
リハビリ					○院内は自由です(1日1回以上は歩行練習を行いましょう)	
説明・指導	○外科医師より、入院の日程、手術について説明があります ○麻酔科を受診し、麻酔医の説明を受けます	○医師より手術について説明があります ○看護師より入院生活について説明があります ○薬剤師より持参薬・服薬歴の確認を行います	○手術前にうがい、歯磨きを済ませておいてください ○ヘアピン、義歯、貴金属類をおとりください ○手術前にトイレを済ませておいてください	○担当医から、ご家族の方へ手術結果の説明があります 	○なるべく早期に歩いた方が回復が早まります ○手術後1か月程度、重い物を持つことは避けましょう	○退院後の生活についてご説明します ○次回の外来受診日について説明します

★ 特別な栄養管理の必要性

有 ☒ 無 ☐

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2 入院期間については現時点で予測されるものです。

ご不明な点は遠慮なくスタッフにお尋ねください。

高齢者総合評価の実施 ☐ 有 ☐ 無

総合的な機能評価

基本的生体動作 ☐ 問題なし ☐ 要精査または要経過観察

日常生活動作 ☐ 問題なし ☐ 要精査または要経過観察

認知機能 ☐ 問題なし ☐ 要精査または要経過観察

気分・心理状態 ☐ 問題なし ☐ 要精査または要経過観察

上記の説明を受け、治療内容を理解しました。

年 月 日

説明者: _____

説明を受けた人: _____ (代表者)

続柄 ()